

～「体温計」が、ここから変わる。～  
すぐ計れる・すぐ気づける・すぐに共有できる保育施設向けヘルスケア IoT  
「ルクミー体温計」2019年4月1日より提供開始

「保育の質を上げる」保育士さんのパートナーとして『ルクミー』を提供するユニファ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:土岐 泰之、以下「ユニファ」)は、日々の検温にかかる時間を短縮すると同時に、誰でも園児の体温の変化を素早く検知できる新サービス「ルクミー体温計」を2019年4月1日より提供開始いたしました。

▼ルクミー体温計 <https://lookmee.jp/thermo/>



「体温計」が、ここから変わる。

これまで、体温計は体温を計るだけのものでした。

ルクミー体温計は違います。おでこにむけてボタンを押すだけで体温を2秒で計測、そのデータはすぐにアプリに送られ、園児全員分の体温を先生同士でリアルタイムに共有できます。

過去データとの照らし合わせも簡単で、園児たちに異変があれば、すぐに気づけます。つまり、すぐ計れる・すぐ気づける・すぐに共有できる。それが「ルクミー体温計」なのです。

【ルクミー体温計 3つのポイント】

1 検温&記録時間を短縮



非接触型体温計と専用アプリで、1人あたりの検温&記録時間が5秒に。日々の検温業務が快適になります。

2 誰でも子どもたちの体温変化に敏感に



グラフ表示で、担任はもちろん担任以外の先生でも過去の体温変化が一目で分かります。

3 異常時はアラートでお知らせ



平熱から1℃以上の差が出た場合、アプリ上のアラート機能で異常を先生にお伝えするので、子どもたちの体調の変化にも気づくことができます。

※現在はリスト表示。グラフ表示は今年度内に実装予定。

## ■開発に至った背景

保育園では一日に1回～2回程度、子どもたちの体調管理のために体温を測り、手書きで一覧表に記載しています。園児1人の検温に30秒～60秒程度かかっており、園児数が多いと相応の時間が必要になり、園児から目が離れてしまう時間が増えてしまいます。「ルクミー体温計」は非接触のスマート体温計と記録アプリによって、検温の時間を短縮します。

体温測定は保育現場ではなくてはならないものだからこそ、すぐに検温ができて自動で記録もできる、保育士の方の業務効率に繋がる仕組みが作れないかと、現場からの意見を伺い実証実験を重ね、「ルクミー午睡チェック」に続くヘルスケア製品の第二弾として開発に至りました。

現状は脇下で計る体温計で計測し一覧表へ転記するといった作業が、「ルクミー体温計」を導入することで、検温から連絡帳等に転記する一連の作業が園児一人当たり5秒程度で実施可能となり、一日当たりの検温回数が45回の場合、一ヶ月あたり約8.25時間ほど保育士の業務削減になります。また、業務削減のみならず、過去の検温結果を確認できるため、担任以外の保育士の方でも子ども特有の体温変化に気づけ、園児の健康を守ることができます。

### <実際にテスト利用し、導入を決定した園の感想>

- 登園したタイミングでパッと計れるので、手軽に計測できる
- 非接触型で肌に直接触れることがないので、消毒の手間がない
- 記録したデータがすぐにアプリに反映されるので、記録の手間がない
- 一定期間のデータ推移が見える化できるのが良い

## ■「保育博 2019」に出展

2019年6月7日(金)、8日(土)に新宿 NSビル イベントホールで開催される、業界初にして最大規模のビジネス商談見本市「保育博 2019」(<http://www.hoikuhaku.com>)にて、保育施設向けヘルスケア IoT の新サービス「ルクミー体温計」をはじめ、販売開始後1年間で全国の導入園数1,500施設を突破した「ルクミー午睡チェック」、業界初の自動撮影機能を搭載した「ルクミーフォト」を出展いたします。是非、実際にお手に取ってお試ください。

## 【会社概要】

会社名 : ユニファ株式会社 (<https://unifa-e.com>)

代表取締役 : 土岐 泰之

設立 : 2013年5月29日

従業員数 : 91名(2019年2月現在)

資本金 : 9億6,577万円(資本準備金含む)

所在地 : 名古屋オフィス / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 2-16-3 丸の内 A・Tビル 10F  
東京オフィス / 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-28-9 キクヤビル 2F

事業内容 : 家族コミュニケーションを豊かにするポータルメディア事業